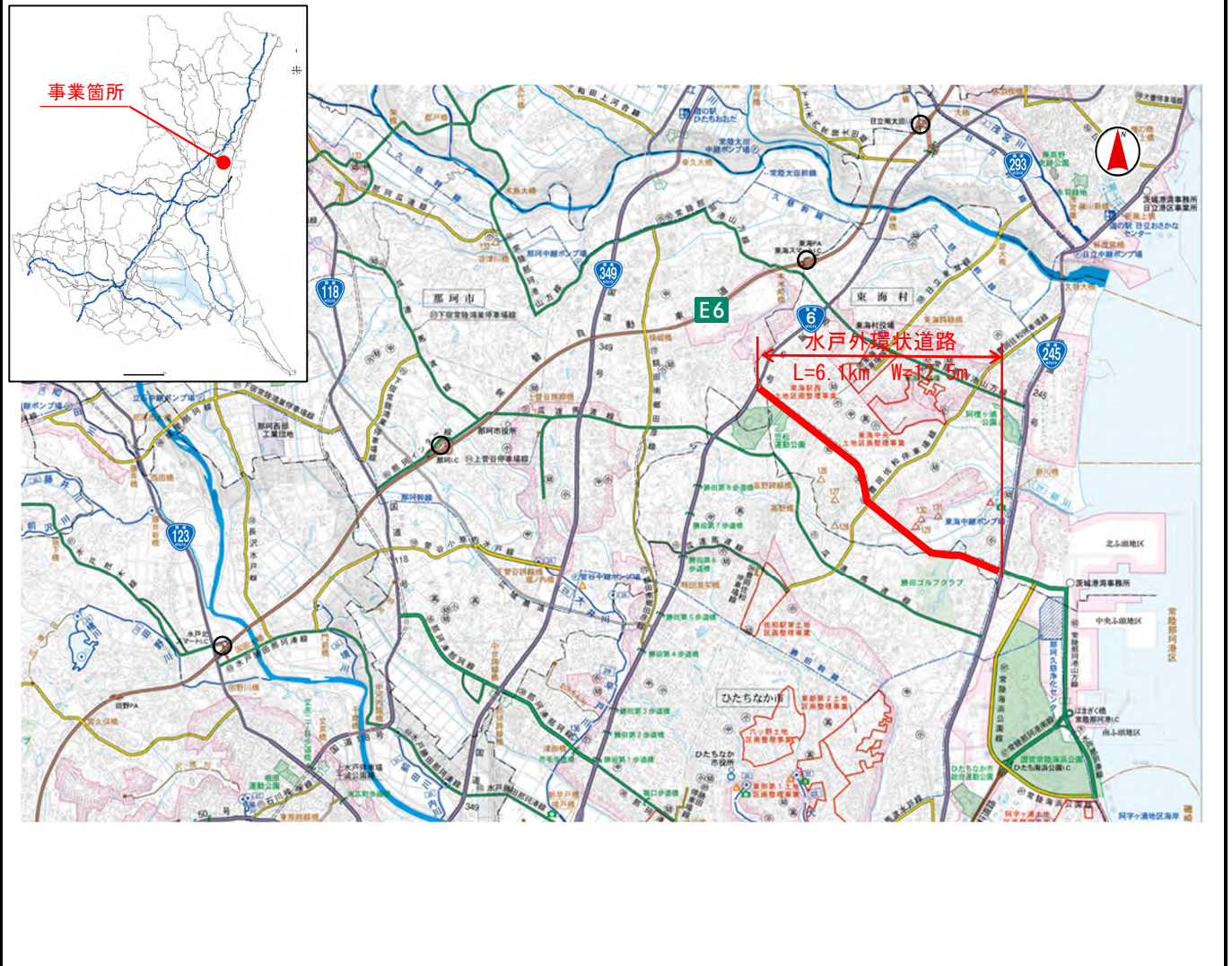


再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課
担当課長名：伊藤 高

事業名：地域高規格道路 水戸外環状道路 主要地方道 常陸那珂港山方線 東海村～那珂市	事業 区分	地方道 事業 主体	茨城県
起終点：自：茨城県那珂郡東海村照沼 至：茨城県那珂市向山		延長	6.1km
事業概要 主要地方道常陸那珂港山方線は、地域高規格道路 水戸外環状道路の一部を構成する道路であり、渋滞緩和、地域の活性化等を目的とし那珂郡東海村照沼～那珂市向山までの延長約6.1kmを整備するものである。			
H31年度事業化	H16年度都市計画決定	R3年度用地着手	-
全体事業費	約210億円	事業進捗率	約8% 供用済延長 - km
計画交通量	11,700～17,500台/日		
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.7	総費用 (残事業)/(事業全体) 156/177億円 事業費：150/172億円 維持管理費：5.6/5.6億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 302/302億円 走行時間短縮便益：274/274億円 走行経費減少便益：26/26億円 交通事故減少便益：2.5/2.5億円
	(残事業) 1.9		
感度分析の結果 (事業全体) 交通量：B/C=1.3～2.0 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=1.5～2.2 (交通量±10%) 事業費：B/C=1.6～1.9 (事業費±10%) 事業費：B/C=1.8～2.2 (事業費±10%) 事業期間：B/C=1.6～1.7 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=1.9～2.0 (事業期間±20%)			
事業の効果等 ・第2次茨城県総合計画において、都市地域間のネットワーク強化や地域の拠点へのアクセス強化のため、本路線の整備が位置づけられている。 ・当路線の整備により茨城港常陸那珂港区と常磐自動車道のアクセス性の向上を図るとともに、周辺道路の交通混雑緩和を図る。			
関係する地方公共団体等の意見 ・茨城県北部幹線道路・水戸外環状道路建設促進協議会等から、早期完成の要望活動が行われている。			
事業評価監視委員会の意見 事業継続を妥当と認める。			
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等 周辺環境等に特に変化はない。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地取得率約2%、事業進捗率約8%			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、工事を推進していく。			
施設の構造や工法の変更等 土工における土量の過不足について、近傍で実施している他事業と工事間流用を調整することにより、コスト縮減を図る。			
対応方針		事業継続	
対応方針決定の理由 事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。			

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。